

# 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

海南市教育委員会

## 1 調査結果の公表にあたって

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に実施しています。しかし、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の成果の一側面にすぎません。本市としましては、本調査の結果から得られた全国の状況等を参考にしながら、今後の教育施策を講じるための一つの指標と捉えるとともに、各学校における学習指導の充実・改善、児童生徒一人一人の学習状況の改善等につなげてまいります。

## 2 調査の実施状況

(1) 調査実施日 平成30年 4月17日 (火)

(2) 調査の対象学年 (本市での実施学校・児童生徒数)

- ・小学校第6学年 (12校・359人)
- ・中学校第3学年 (7校・370人)

(3) 調査の内容

① 教科に関する調査

国語、算数・数学は、

- ・A問題：主として「知識」に関する問題
- ・B問題：主として「活用」に関する問題

理科は、

- ・「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に出題

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する内容

(4) その他

① 本調査は、対象となる学年が限られており、本年度は、実施教科が国語、算数・数学、理科の3教科のみであること、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要です。また、今回示した数値は調査結果のすべてを表すものではありません。

② 今後の指導に生かすため、市全体の結果から見たそれぞれの教科や質問紙の概要、今後の取組についてなどを併せて記載しています。

### 3 教科に関する調査の結果

#### 【小学校】

(1) 平均正答率 ( )内は全国比

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
海南省	75.2 (+4.5)	58.6 (+3.9)	66.8 (+3.3)	54.9 (+3.4)	63.9 (+3.6)
和歌山県(公立)	72	55	63	51	60
全国(公立)	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

※ 自治体別の平均正答率は小数点以下を四捨五入し、整数値で示されていますが、海南省の結果は各設問の平均正答率をもとに計算し、独自に小数点まで算出しています。

(2) 各教科の概要

#### ① 国語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	国語A			国語B		
	海南省	和歌山県	全国	海南省	和歌山県	全国
話すこと・聞くこと	92.2	91.4	90.8	68.4	65.3	64.6
書くこと	76.9	73.2	73.8	52.0	47.2	45.6
読むこと	74.0	74.6	74.0	53.1	51.6	50.8
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.2	68.1	67.0	—	—	—

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

○：よい状況と考えられる内容 ●：課題があると考えられる内容

A問題では全12問中11問の設問で、B問題では全8問中7問の設問で全国を上回っています。また、B問題の「書くこと」に関する問題(全5問)では全国を5ポイント以上上回っています。

- 相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること
- 目的に応じて必要な情報を捉えること
- 目的に応じて複数の本や文章などを選んで読むこと

#### ② 算数

i) 学習指導要領の領域別正答率

	算数A			算数B		
	海南省	和歌山県	全国	海南省	和歌山県	全国
数と計算	64.2	60.8	62.3	61.7	58.4	58.4
量と測定	77.6	72.8	72.7	55.6	52.0	52.4
図形	59.1	56.2	56.9	63.4	58.4	59.9
数量関係	63.6	58.6	60.1	46.7	43.9	45.1

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

○：よい状況と考えられる内容 ●：課題があると考えられる内容

A問題、B問題とも、学習指導要領の各領域全てで全国を上回っています。また、A問題では全14問中12問の設問で、B問題では全10問中6問の設問で全国を上回っています。

- 分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めること
- 示された考えを解釈し、分配法則の式に表現すること
- 示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めること
- 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを考えること

③ 理科

i) 学習指導要領の領域別正答率

		海南省	和歌山県	全国
A区分	物質	60.7	57.8	59.8
	エネルギー	57.7	54.1	53.1
B区分	生命	76.5	73.0	73.6
	地球	53.3	49.5	49.5

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

〈○：よい状況と考えられる内容    ●：課題があると考えられる内容〉

学習指導要領の各領域全てで全国を上回っています。また、全16問中15問の設問で全国を上回り、特に、設問2「流れる水の働き」では、全4問中3問の設問で全国を5ポイント以上上回っています。

- 天気と川の水位の情報を関係付けながら、分析して考察することができること
- 回路を流れる電流の実験結果から、電流の流れ方について考えること
- 食塩水を熱した実験結果から言える内容を書き直すことができる

## 【中学校】

(1) 平均正答率 ( )内は全国比

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
海南省	78.1 (+2.0)	60.8 (-0.4)	75.0 (+8.9)	52.5 (+5.6)	70.4 (+4.3)
和歌山県 (公立)	75	59	67	45	65
全国 (公立)	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

※ 自治体別の平均正答率は小数点以下を四捨五入し、整数値で示されていますが、海南省の結果は各設問の平均正答率をもとに計算し、独自に小数点まで算出しています。

(2) 各教科の概要

① 国語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	国語A			国語B		
	海南省	和歌山県	全国	海南省	和歌山県	全国
話すこと・聞くこと	79.2	72.7	75.2	79.6	75.2	76.6
書くこと	78.4	72.6	73.9	30.8	29.6	31.3
読むこと	78.1	75.8	76.7	51.4	50.6	53.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.9	75.5	76.5	49.7	48.1	49.2

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

〈○：よい状況と考えられる内容    ●：課題があると考えられる内容〉

A問題では学習指導要領の各領域全てで、また、全32問中27問の設問で全国を上回っています。B問題では「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で全国を上回っています。

- 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くこと
- 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと
- 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつこと

② 数学

i) 学習指導要領の領域別正答率

	数学A			数学B		
	海南省	和歌山県	全国	海南省	和歌山県	全国
数と式	81.6	73.7	71.1	58.8	50.7	51.4
図形	74.1	68.4	69.1	56.1	45.6	46.7
関数	66.5	55.9	55.5	55.9	50.0	52.8
資料の活用	74.9	64.8	63.5	41.0	35.0	38.0

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

〈○：よい状況と考えられる内容 ●：課題があると考えられる内容〉

A問題、B問題ともに、学習指導要領の各領域全てで全国を上回っています。また、A問題では全36問中33問の設問で、B問題では全14問中13問の設問で全国を上回っています。

- 数量の大小関係を不等式に表すことができること
- 事柄が成り立つ理由について、構想を立てて説明することができること
- ひし形は線対称な図形であり、点对称な図形でもあることを理解すること
- 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができること

③ 理科

i) 学習指導要領の領域別正答率

		海南省	和歌山県	全国
第1分野	物理的領域	76.8	72.1	74.4
	化学的領域	71.1	63.9	65.0
第2分野	生物的領域	77.2	70.9	72.5
	地学的領域	60.9	56.3	57.8

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

〈○：よい状況と考えられる内容 ●：課題があると考えられる内容〉

学習指導要領の各領域全てで全国を上回り、中でも、化学的領域（第1分野）では、全国を5ポイント以上上回っています。また、記述式問題全6問の設問で全国を上回り、うち4問が5ポイント以上上回っています。

- 化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できること
- 神経系の働きについての理解すること
- 光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できること
- 豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できること

#### 4 質問紙調査の結果

全国学力・学習状況調査では、教科の調査のほか、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査があります。この質問紙調査では、児童生徒の学校や家庭における学習状況や学校での学習の様子が分かります。

※ 表中の海南市の数字は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合

※ 比較は、海南市と全国との割合の差（海南市－全国）を表す

##### (1) 基本的な生活習慣

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
朝食を毎日食べていますか	95.2	+0.7	92.4	+0.5
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	74.4	-2.6	72.8	-1.4
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.2	+3.4	90.2	-0.1
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	83.0	+2.5	74.8	-1.2

##### (2) 規範意識、自己有用感等

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
自分には、よいところがあると思いますか	89.2	+5.2	83.9	+5.1
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.0	+4.7	84.2	+2.0
将来の夢や目標を持っていますか	85.8	+0.7	75.3	+2.9
学校のきまり（規則）を守っていますか	90.3	+0.8	96.2	+1.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.3	+1.5	98.1	+2.6
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.5	+2.3	96.2	+1.3

##### (3) 学習習慣等

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	67.9	+0.3	54.3	+2.2
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	64.0	+1.4	59.2	+4.0
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む：1時間以上）	67.7	+1.5	69.9	-0.7
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く：30分以上）	36.8	-4.3	23.9	-7.0

(4) 地域や社会に関わる活動の状況

質問事項	小学校		中学校	
	海南省	比較	海南省	比較
今住んでいる地域の行事に参加していますか	63.3	+0.6	43.5	-2.1
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	70.2	+6.4	56.2	-3.1
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.5	-3.4	34.8	-3.9
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	28.4	-7.7	27.7	-24.1
新聞を読んでいますか（週に1回以上）	23.7	+3.8	22.6	+8.7
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	87.8	+1.6	83.1	-3.5

5 今後の取組について

平成30年度全国学力・学習状況調査における本市の各教科の状況については、中学校国語Bで全国を0.4ポイント下回りましたが、他の教科では全国平均・県平均を上回っており、概ね良好な結果であるとともに、学習の成果が現れていると捉えています。

新しい学習指導要領が示され、既に本年度から移行期間中の内容に取り組んでいるところであり、今後は、子供たち一人一人に対し、基礎的・基本的な知識・技能の習得はもちろん、それらを活用して課題を見だし、解決するための思考力・判断力・表現力などや、学びに向かう力・人間性等幅広い学力を確かに身につけさせることが必要です。また、「主体的・対話的で深い学び」の視点のもと、教師一人一人が日常の授業を大切に、創意工夫ある、魅力ある授業を展開するとともに、全ての子供が「できる・分かる」喜びをもてる学びを形成できるよう、授業改善に継続的に取り組むことが重要であると考えています。

そのため、全国学力・学習状況調査から得られる結果等をさらに分析し、子供たち一人一人の学習状況の把握はもとより、一層きめ細かい指導を進めていくことが大切であると捉えています。

なお、基本的な生活習慣の確立、規範意識・自己有用感の醸成、家庭学習のあり方、読書活動の推進、地域や社会参加への意識高揚などについては、家庭や地域の皆様方の御理解と御協力をいただきながら、より充実させていくことが求められます。

教育委員会としましては、今後とも、各学校の学力向上に向けた取組を支援するとともに、教育施策の充実を図り、子供たちの可能性を広げる教育の推進に努めてまいります。

また、各学校においても、自校の状況及びその分析結果、改善方策等を保護者等に説明することとしております。